

地区スローガン：「Love Other Spirit ～繋ごう次世代へ 夢ある未来に向けて～」

クラブ方針：「豊かな心を持とう! 今こそ『絆』」

国際ロータリー第2790地区 第3グループ 千葉西ロータリークラブ Rotary Club of Chiba-West WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
 会長 今野 文明 幹事 本橋 和也
 例会場 千葉スカイウインドウズ 東天紅 センシティブタワー23階
 TEL 043-238-5555
 例会日 毎週火曜日 12:30～
 事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
 TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
 E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
 URL : <https://www.chibawest-rc.net/>

■ 例会延期のため臨時週報会長挨拶 / 今野文明 会長

皆様、改めまして、この厳しいコロナ禍の中、本年度のロータリー活動へのご理解、ご支援を頂き誠にありがとうございます。

まん延防止等重点措置が3月6日まで延期されましたが、3月1日現在また新たな延期が検討されている状況です。また今後の感染状況を、高い警戒感を持って注視していく必要があると考え、2月全月及び3月1日の例会を取消及びプログラムの延期とさせて頂きました。

本来ならば8月が「会員増強・新クラブ結成推進月間」ということもあり、年当初は早い時期9月14日に会員増強オープン例会を開催する予定でしたが、コロナ第5波にて中止を決定させて頂きました。

その代替えとして設定したのが本日の北村悠介委員長率います「会員増強・退会防止委員会」主催のクラブフォーラムでしたが、今度はコロナ第6波で残念ながら例会取消となっていました。

ロータリークラブは、なぜ会員増強が必要なのか？

まず、ロータリーは良いことをしている、これから良いことをして行こう、だから多くの人に参加してもらうには、多くの人を誘い合って良いことを広げて行くという考えが根底にあると考えます。

会員増強は、ロータリークラブの「永遠のテーマ」だと良く言われますが、このコロナ禍で各クラブ共に大変厳しい状況になっています。委員会名にもあるように、会員の増強（増加）と同じく退会防止（減少）にも全力で取り組んで行かなければいけないと強く感じています。

大変難しいことですが、新会員に早くロータリーを理解してもらいロータリアンとしての、自覚と喜びを共有できるように導き、さらに新会員が定着するには、やはりクラブが輝いていること、奉仕の理念のもとロータリー活動をしていて、自分もその一員であることに誇りが持てることが重要だと考えます。

クラブが輝き魅力あることが、会員増強にも退会防止にも必要なことであるのは言うまでもないことだと思います。今後この「永遠のテーマ」に全力で取り組んで行きたいと考えています。

今後の例会は、まん延防止等重点措置が解除されるか、延期になるか、緊急事態宣言に移行されるのか、動向を見守り判断させて頂き皆様に通知させて頂きます。

会員の皆様に於かれましては、くれぐれもご自愛して頂き、元気な姿でまた例会で元気にお会い出来ることを心より期待しています。



■ 会員増強オープン例会及びクラブフォーラム中止に伴い 北村悠介 会員増強・退会防止委員長

昨年の秋ごろ、コロナが少し落ち着いてきたこともあり、2022年に入ったら会員増強オープン例会を開催しようというお話をいただき、そのためのゲストについて誰を呼ぶべきかという話を委員会内外でしてまいりました。稲毛区黒砂町に自宅を建設中で宇宙旅行帰りの前沢勇作氏に来ていただけたら非常に盛り上がるのではないかと、東京オリンピック・パラリンピックに参加した選手にお話を伺えないかなどと話をし、実際、今野会長のご尽力でパラリンピックに参加した選手にお話を伺えそうというような話も出ておりました。しかし、再びコロナの猛威が増してきたため、今年度も会員増強オープン例会は中止とせざるを得なくなりました。

そこで、代替案として、今回実施されるはずだった例会において、当委員会主催のクラブフォーラムを開催し、過去の会員増強フォーラムで挙げられていた案について実現に向けて具体的な検討を行おうと考えておりました。しかし、蔓延防止措置の延長に伴い例会自体が中止となり、お蔵入りとなってしまいました。今回は週報を借りて、クラブフォーラムでどのようなことを検討いただきたかったのかご報告をさせていただきます。

当委員会において当クラブ独自の新入会員向けパンフレットの作成をさせていただきたいと考えております。パンフレットを作成するにあたって、どのような情報を記載し、どのような形で配布をしていくのが費用面も含めて効果的かといった点について検討いただきたく考えておりました。私の入会時の話で恐縮ですが、所属している弁護士事務所のベテラン弁護士から「何処かのロータリークラブに所属しなさい。興味があるクラブがあれば推薦してもらうから」と半ば業務命令のような形で言われ、千葉市内及びその周辺のロータリークラブのHPを片っ端からみてまわりました。しかし、会員名簿も掲載されていないクラブも少なくなく、クラブごとの特色も分からず、どのクラブに入るべきか全く分からずどうしようか迷っていたところ、偶然、某N川先輩にお声掛けいただき、当クラブに入会させていただくこととなりました。入会が決まって改めて当クラブのHPを見たものの、当時は会員名簿も活動状況も古いものしか掲載されておらず、不安な気持ちいっぱいに入会式を迎えたことを覚えています。結果的にはとても居心地よく私にとっては最良のクラブに入れたのではないかと考えてはいるものの、どのクラブに入ろうか迷っている新入会候補者を当クラブに勧誘するという面からみると改善すべき



点が多々あるように思っています。色々な方法があると思いますが、私としては、まずは簡単なパンフレットを作成させていただき、次年度以降に引き継いで少しずつ良いものに改訂できればと考えております。正直なところ、「パンフレットがあったから入会した」ということはないだろうと思っています。しかしながら、「パンフレットもなくクラブの内容が分からないから入会を控えることにした・他クラブに入会することにした」というように私たちが認識できないところで委縮効果が生じている可能性はあると思っています。新たに立ち上がった委員長連絡会議を通じて、当委員会に所属されていない会員の意見も伺いながら、今年度中に形にしたいと思っています。現時点では、HP からダウンロードして印刷できる形にすれば費用も抑えられるだろうと考えています。クラブ広報・ロータリー情報委員会をはじめ、他委員会のご協力が必要不可欠になりますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。

また、今年度中の実現は難しいところですが、会員同士を対象にした、業務上のマッチングを目的に、各会員の業務のPRができるツールを作成できないものかということを考えております。個々の会員同士の交流を深める中で自然と仕事上での繋がりが出来てくるというのが本来あるべき姿であることは重々承知しております。しかし、個々の会員がそれぞれの仕事の中でどういう点に強みを持っていて、どういう分野や業務まで取り扱っているかということは、幾ら仲が良くても、ご本人が積極的に発信してくれない限り、把握すること自体が難しいのではないのでしょうか。自社のHP に掲載している情報についても、不特定多数の方に見られることを前提にしているため、どうしても、当たり障りのない一般的なことや建前を書かざるを得ず、記載できない情報も沢山あると思われます。当クラブHP上には会員用フォトアルバムが掲載されており、会員でなければ閲覧することができないことになっていますが、同様に、会員でなければ閲覧できない形にして、詳細な自己紹介を行うことができるパンフレットを作成して、各自において随時加筆修正をしてもらい、更新を行うことを可能にするというような運用が出来たら面白いのではないかなどと思っています。この提案には検討が足りていない部分が多々ありますが、新入会員の増強、特に若手の増強を図っていくとなると、新しいことに取り組んでいくことが重要ではないかと僭越ながら考えております。本来はフォーラムを開催して双方向で議論をするべきところを、一方的な意見を申し上げて大変恐縮です。今回述べさせていただいたことがたたき台になって、より良いクラブづくりにつながれば幸甚です。次年度がどういう形になるか分かりませんが、前野次年度委員長にはきちんと引き継ぎを行いたいと考えております。一年を振り返るような締めくくりになってしまいましたが、前述の新入会員向けのパンフレット作成については残りの4か月弱の中で形にできるよう一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

■「ロータリーライフと組織規定変遷について」 クラブ広報ロータリー情報委員会

私たちすべてのロータリアンは、毎週のクラブ例会に出席する義務を果たす役目を担っています。私たちロータリアンの役割は仲間との親睦を深めあい、職業人としての倫理を高めあい、人間性向上を目指しスキルや公共的奉仕の精神を磨き向上させています。共に奉仕活動に意識が向いて高まるように豊かな語り合いを共有し、クラブ内に情報公開とコミュニケーションを広めあっています。クラブ活性の指針としたロータリーの目標があり、実践活動の基本になる五大奉仕に沿ったクラブ委員会活動によって、会員の年齢や性別の違いやクラブ入会歴による経験や履歴を気軽に披露しあいながら、互いが助けあい精神を存分に発揮させ、相互扶助的な質の高い奉仕活動を行うクラブ環境を目指し構築させています。

だからこそ、クラブ例会は重要であり価値が高く貴重な時間なのです。

各自それぞれが携わる職業人の代表として、クラブから与えられた職業分類を自負して自責の念をもってクラブに在籍していることが、ロータリアンとしての高潔さに繋がります。日々自らが専門職務の事業人として常に誇り高い意欲をもって、クラブメンバーとの親睦を深めあう家族愛的な和みが真のクラブライフの姿です。我々は、誰彼なく平等公平な立ち位置を基本とさせて、他を思いやる自らの心掛けを日々磨きあっています。更には、例会の場に於いては、会員同士が互いに切磋琢磨を心掛け自己形成の修練を目指しています。こうして日々成長を磨き合う中で得た善行の心掛けを、家庭や事業所や関係者を通して他に伝導する大事な役目をも担っています。その為には、毎週の例会に出席して仲間との上質なフェローシップを磨く必要がありますし、例会ごとに得られる仲間との絆が誇りを生み出してくれます。欠席の場合はできるだけ他クラブでのメイクアップをする必要がありますが、この制度も自クラブを超えた、新しい出会いや体験を会得することで、職業人として一層の向上心や向学心に結びつける良きチャンスとすべきでしょう。今では、「組織規定」のしびりや厳しさが緩和されてきましたが、例会重視の考え方と実践は草創期から継承され、厳しいクラブ定款と細則が、ロータリアンの誇りとして大切にされてきました。

組織規定は、時代に沿って規制内容が緩和されてきましたが、国際ロータリーは3年に一度定期的に組織規定である、国際ロータリー定款と細則及び、標準クラブ定款の見直しを継続させてきました。昔話になりますが、会員歴の古い方が入会を許された時代のロータリーライフは厳しく、多くの組織規定で決めごとの制約があったと教えて頂きました。当時は厳しい規定に従いながら、クラブ内の委員会活動は盛んに行われ、委員会内部やクラブ全体の活動が熱心に情熱をもった活動に参加できる環境がありました。クラブ内委員会で協議がされた後の親睦会も盛んな時代では、委員会メンバーのほとんどの方が夜遅くまで語り合った活況があったようです。良き時代背景があったのでしょうか、善行は継承させたいものです。クラブ内での仲間たちが寄せ合って、様々な友愛を重ねてきた歴史の中で、クラブ委員会運営に参加する責任感と緊張感を強く感じながらも、時間経過とともに慣れてくると、クラブメンバーとしての満足感や職務の達成感やロータリアンとしての誇りを持てるようになります。クラブ内で異業種の皆さんが集まる中で信頼を深め、それぞれが経営者の立場で尊敬をしあい、胸襟を開いて素顔での立ち位置をもって切磋琢磨し、商取引の実務から離れた一人の私人として交流を深めあっています。その中でも、素顔の人間性に触れあうことや、腹をわった会話から感銘を受けることが新鮮に受け止めるように心得たいものです。千葉西クラブの創設期のロータリー組織規定ですが、まずはクラブテリトリー制として所在しているクラブの地域限定があり、その地域に住むか事業所があることが入会条件にありました。更には基本的に二人の会員から推薦される必要もありました。入会を許されても毎週ある例会出席を厳しく管理され、出席補填の他クラブ出席は真面目に守られ実践されてきましたことは、如何に毎週の例会に出席する責任と意義の貴重さを毎例会での親睦を通して直に修得してきました。また多くの奉仕活動のなかで信用を積み増しし尊敬しあう友情の絆を強めています。入会歴の古い会員さんからの情報ですが、入会時の例会会場では緊張感がありましたが、それ以上に友情という仲間意識や異業種の会員交流から得難い学びが価値となり、更には仲間意識が家族意識に結びつく友情が強かったと受け止めています。クラブのプログラムで一番仲間を意識で

きる時は、クラブ委員会活動だと思います。それぞれに配属された委員会に於いて、相互扶助の精神で知恵を出し合い企画運営を準備するチームの団結力は得難い魅力満載の体験だと思います。今後も 2030 年にスタートする SRF「ロータリー未来形成」プログラムの組織規定に向けて、ロータリーの運営改正が進みますが、クラブの自治は益々大切になって責任の大きさが増大してきます。時代と共に変化するロータリーや適応力を高めることを求められています。年々クラブメンバーと共に変化に対応できる多様性を身に付けていけることを願っています。年々グローバル化してきた国際ロータリーからの指針ですが、クラブ内でよくよく協議されて、一人一人の会員がロータリアンとしての自覚を強くしたいものです。当クラブも創立 50 周年を目前にして、今一度クラブの組織と運営及びクラブ細則を見直してみることも必要でしょう。その為にも、時々手続き要覧を目にすることに意義や責任を感じることは大切だと思います。

我々一人一人は千葉西クラブ組織の一員として存在しています。今こそ千葉西クラブの一員としての役割と責任を自覚するために、国際ロータリーに加盟するクラブとして、ロータリーの組織を良く理解していくべきです。今後のクラブ繁栄と活性に向けて、自らも一助を果たす生き甲斐を修得していけるように、ロータリアンスピリットを強くもち、クラブにも地区にも国際的にも価値ある行動を継続していきたいものです。

参考文章引用元 (MY ROTARY・ロータリーの友・web 各クラブ HP)

■ ウクライナ情勢に関する国際ロータリーからの声明

ウクライナと世界の人びとにとって、痛ましく悲惨な状況となっています。

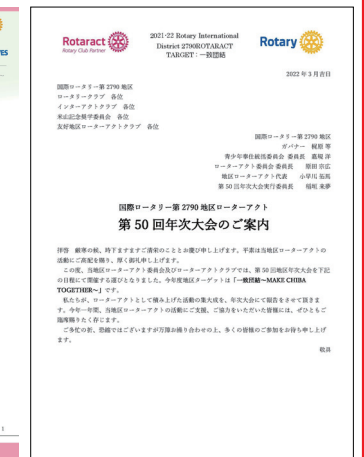
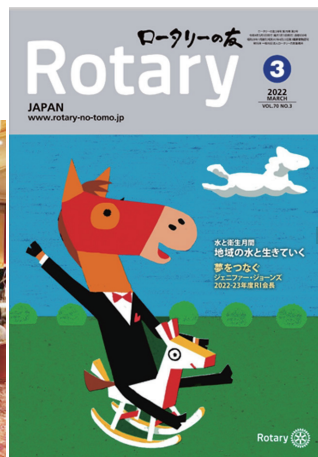
ロータリーは、ウクライナにおける状況悪化と、人命の喪失および人道的苦難が深刻化していることを深く懸念しています。ウクライナに対する軍事行動が続けば、地域の荒廃を招くだけでなく、欧州と世界にも悲惨な結果が広がる恐れがあります。

世界最大の人道支援団体の一つとして、ロータリーは「平和」を世界的使命の礎としてきました。

私たちは、国際社会とともに即座の停戦、ロシア軍の撤退、および対話を通じた対立解決のための外交努力の再開を求めます。

過去 10 年間、ウクライナ、ロシア、および近隣諸国のロータリークラブは、国の違いを超えて、親善を推進し、戦争や暴力の被害者への支援を先導する平和構築プロジェクトに積極的に取り組んできました。私たちは今、この悲劇的な出来事に直面しているウクライナのロータリー会員や人びとのために祈ります。国際ロータリーは、救援物資や支援を提供し、ウクライナ地域に平和をもたらすために全力を尽くします。

国際ロータリー 25-Feb-2022



ニコニコ BOX

・なし

千葉西ロータリークラブ	総数	出席	前々回の修正	メーキャップ	本日の出席率	ニコニコBOX	本日の合計	次週プログラム
	48名	0名		0名	0%		0円	
	対象者	欠席		欠席	前々回の出席率		本年度累計	
	48名	0名		0名	0%		695,000円	

次週プログラム

まん延防止等重点措置
延長の場合は例会取消

クラブ広報・ロータリー情報委員会 【委員長】桜井隆宏 【副委員長】海賀勘一 *高橋健一郎 【委員】嶋田 悠 *野城隆憲 *北村悠介 *中村武弘 *川崎美嘉子